

小金井市議会議員／情報公開こがねい

渡辺大三

週刊 NEWS



【会派 NEWS】

2019(令和元)年9月19日号(改) 週刊 Vol.30

ご意見ご要望はお気軽に

〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301

TEL 090-3345-6929

FAX 042-381-5074

watanabedaizou@gmail.com

これが「ひろば」？ まるで「すきま」

市庁舎建設 模型を見て改めて驚きました



メイン広場はこの狭さ
子どもたちも遊べない

敷地の大半を
埋め尽くす
駐車場と道路！

市庁舎と駐車場にはさまれた
このスペースを「ひろば」と市長は呼びますが

これはどう見ても「すきま」です！

「駐車場は地下に、地上は大きな広場に」 基本設計はその設計思想で進めるべき

9月18日、市庁舎及び福祉会館の基本設計に関して、市議会に「模型」が展示されました。平面図やパースは見てきましたが、模型を見るのは初めてでした。

昨日見たばかりですので、詳細な分析は改めて書きたいと思いますが、率直に感想を申し上げますと、あまりにも「ひろば」が貧弱で、駐車場だらけの印象です。

全体像は1面に掲載しましたが、広場と駐車場の部分を拡大すると、以下のようになります。西岡市長は、市庁舎と駐車場と間の「すきま」を「ひろば」だと言っていますが、耳を疑う思いです。



敷地を西側から見ると、以下の写真のようになります。「すきま」が「ひろば」として使えるようなシロモノではないことが一目瞭然です。この「すきま」は、所詮は、通路としての役割しか果たせません。



私は、基本設計は「駐車場は地下に、地上は大きな広場に」という設計思想で進めるべきだと考えています。

そう考える理由の第一は、この敷地周辺は、市当局も認めざるをえないように、悲惨なほどの「公園空白エリア」だからです。

理由の第二は、この敷地は JR 中央線の車窓から良く見えるので、「公園都市こがねい」を PR し、小金井市を居住地に選んでいただける「人口を増やすこと」＝「税収増」が期待できるからです。

理由の第三は、福祉会館は、子ども、その保護者、高齢者、障がい者、その他多くの市民が理由する施設であり、施設利用者が伸び伸びと過ごせる広場空間が求められるからです。特に、子どもたちに伸び伸びと過ごせる環境を残してあげることが、現在を生きる私たちの世代の責務だと思います。

理由の第四は、震災の際には、広場は災害対策拠点として活用できますが、駐車場は平常業務でも必須の施設であり、転用できる面積には限界があるからです。災害対策の意味でも大きな広場は必要です。

しかし、西岡市長は、模型のような「貧弱な広場プラン」を強行しようとしています。

私としては、基本設計やそれに続く実施設計において、「駐車場は地下に、地上は大きな広場に」を実現できるよう、志を同じくする市民の皆様と運動を進めていきたいと考えています。

脱ムダで市政を変える！

渡辺大三 プロフィール

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に26歳で初当選。以降7期連続当選(直近4期は無所属で立候補し、当選)。「脱ムダ改革」を掲げ、高額人件費問題など小金井市政のムダ遣いや不正、癒着、天下りを厳しくチェック。

現在＝小金井の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」(代表＝上田令子都議会議員)幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学員会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。
公式サイト www.daizou.org